

■ 災害に備えて… わが家の安全をチェック

● ベランダ

- ・ベランダから避難できるように、常に整理整頓を。
- ・鉢植えなどは落下しないよう低い位置に置くか固定する。

● 窓ガラス

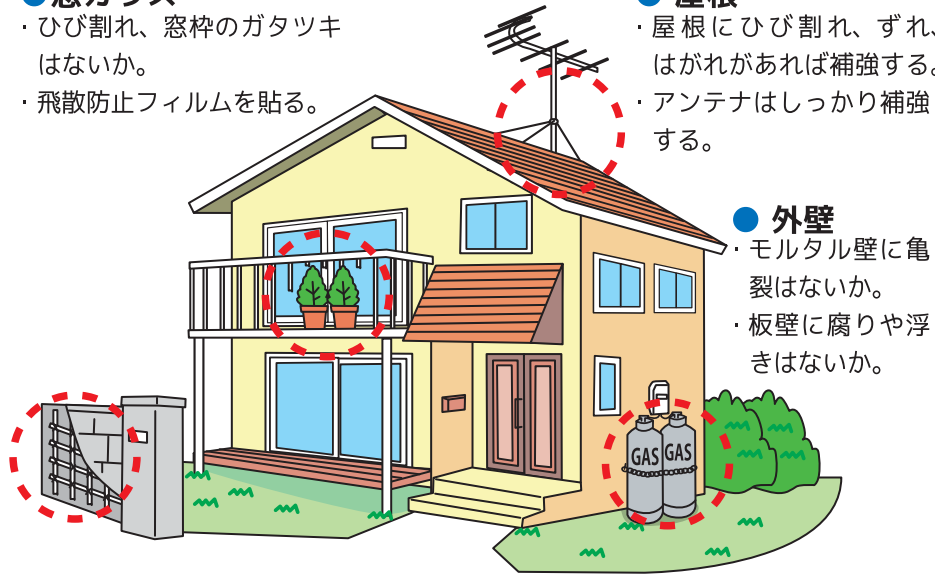
- ・ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。
- ・飛散防止フィルムを貼る。

● 屋根

- ・屋根にひび割れ、ずれ、はがれがあれば補強する。
- ・アンテナはしっかり補強する。

● 外壁

- ・モルタル壁に亀裂はないか。
- ・板壁に腐りや浮きはないか。



● ブロック塀

- ・土の中にしっかりと基礎部分のないもの、鉄筋が入っていないものは補強する。
- ・ひび割れや傾き、鉄筋のさびがある場合は修理する。

● プロパンガス

- ・ガスボンベは鎖でしっかりと固定しておく。

● 耐震補強

- ・自宅の倒壊危険度をチェックする(「新耐震基準(昭和56年)」施行以前に建てられた住宅では、耐震性に不安なものがある)。
- ・住宅や建築物の耐震診断を受け、必要な耐震補強工事を行う。

トピックス

■ 避難ルートを歩いてみよう

休日などを利用して、自宅から避難所・避難場所まで「南相馬市地震・津波等ハザードマップ」を参考に歩いてみて、安全・確実に避難できるかどうかを確認しておきましょう。

また、発生する災害によって避難方法も様々です。それぞれに適した避難ルートを普段から考えておくことも必要です。

避難ルートは、がけに近い道や川のそば、橋梁等はできるだけ避けるようにしましょう。



■ 家族で決めた役割分担を書いておきましょう

巻末「防災メモ 役割分担」(記載例)

役割	非常持ち出し品のチェック	わが家の安全チェック	連絡方法 避難所		
担当	お母さん	お父さん	家族全員		

■ 定期的に家庭で防災について話し合おう

災害時には、家族全員が協力し合うことが求められます。そのために、日頃から家族で防災について話し合う機会を持ちましょう。

1. 役割分担を決める

- ・日常の予防対策上の役割と地震発生時の役割を決めておく。
- ・高齢者や幼児がいる場合は、保護担当者を決める。

2. 家庭内の危険箇所をチェック

- ・家の内外をチェックして、危険箇所を探す。
- ・危ない箇所は、修理や補強方法について話し合う。
- ・家具の配置換えをして、家の中に安全なスペースを確保する。
- ・家具の転倒・落下を防ぐ方法を決める。

3. 非常持ち出し品のチェック

- ・必要な非常持ち出し品がそろっているか確認する。
- ・定期的に保存状態や使用期限を点検・交換する。

4. 連絡方法や避難所・避難場所の確認

- ・家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難所・避難場所を確認する。
- ・連絡方法には、NTTの「災害用伝言ダイヤル(171)」や携帯電話各社の「災害用伝言板」などがあり、その利用方法について確認しておく。
- ・具体的な緊急連絡先や避難所等の情報を記述した防災カードを、本マニュアル末尾を用いて作り、携帯しておく。

■ 災害時の情報収集について確認しておこう

災害時には、市やマスコミ等からさまざまな情報が発信されます。

日頃から情報の収集方法を確認し、災害時にはそれぞれの適した方法で、情報を入りし常に確認して行動しましょう。

テレビ・ラジオ・防災行政無線(戸別受信機含む)・広報車・みなみそうまチャンネル・携帯電話への緊急情報等メールサービス・南相馬ひばりエフエム(臨時災害放送局(FM87.0MHz))・SNS・公共情報コモンズ・市ホームページなど。

防災行政無線の戸別受信機は、市役所で申請すると無償で借りることができます。

● 緊急情報等メールサービス(防災メール)の登録方法

以下のメールアドレスに空メールを送信
entry-minamisoma@fastalarm.jp
確認のメールが届きますので、30分以内に配信される条件を設定後、再送信してください。

